



## TKK 共通シラバス

1. 科目名	社会貢献論Ⅱ				
2. 教員名	浅野 壽夫	3. 担当大学	神戸学院大学		
4. 対象学年	2年生以上	5. 開講時期	後期	6. 単位数	2単位

<b>7. 主題と目標、授業のねらい及び具体的な達成目標</b>					
<p>&lt;主題&gt; 紛争・戦争・災害・貧困・環境など人間の安全保障を脅かす状況が深刻化している。多くの救援・支援活動にも関わらず、世界では多くの地域で貧困により、子どもたちを中心に多くの人々が飢えや病気に苦しんでいる。本講座は、このような現状に対して、わが国が実施する国際協力、ODAの中核組織である国際協力機構（JICA）の全面的な協力により実施するものであり、毎回、ゲスト・スピーカーを招き、わが国のODA、特に国際協力機構の活動を中心に地域連携やNGOとの連携や新しい活動などを視野に入れつつ、世界で起きている課題に対して具体的な活動内容を紹介していく。なお、講義内容はゲスト・スピーカーの都合等により変更もありうる。</p> <p>&lt;目的&gt; ・日本の政府開発援助の内容を理解把握することができる・開発途上国の現状と課題を学ぶことができる・世界における日本の国際的立場を理解し、国際協力の意義を理解できる・世界に対して将来の自分の役割を広めることができる</p>					
<b>8. テキスト、参考書、指定図書</b>					
JICA（国際協力機構）HP					
<b>9. 事前、事後に受講してほしい講義等</b>					
【事前受講してほしい講義等】					
【事前受講してほしい講義等】					
<b>10. 提出課題など</b>					
小テストを実施する・期末レポートないし定期試験を実施する					
<b>11. 評価基準</b>					
平常点（30%）、小テスト（20%）、期末レポートないし定期試験（50%）					
<b>12. 学生へのメッセージ</b>					
毎回出席カードを提出する・授業中の私語は禁じる・原則。遅刻は認めない					
<b>13. 参考（ホームページ、オフィスアワー等）</b>					
<a href="http://www/jica.go.jp">http://www/jica.go.jp</a>					

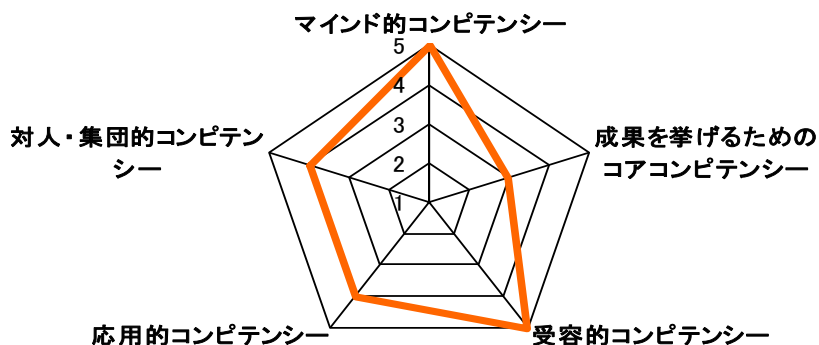
## 【授業計画】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	カリキュラム及講義概要の説明
第2回	国際社会と日本の国際協力	日本の援助の歴史及び現状を理解する
第3回	JICAについてⅠ	JICAが実施している国際協力全般について把握するとともに、若者への国際協力への理解と参加を促進する
第4回	JICAについてⅡ	JICA事業の紹介（JICA職員の仕事を理解する）大学生と近い若手

		から、本部・在外・国内機関での経験から感じる国際協力について語る。
第5回	JICA ボランティア事業の仕組みと概要	JICA の実施しているボランティア事業についてその概要を説明し、JICA ボランティア（青年海外協力隊、シニアボランティア）の現状について理解を深める。
第6回	青年海外協力隊事業の事例 I	JICA ボランティアの取組みについて実体験に基づき説明を受け、JOCV 事業の意義について考える。
第7回	青年海外協力隊事業の事例 II	同上
第8回	研修事業の概要（JICE）	JICA 研修事業は、途上国の人づくりの中核的な事業であり、これまでに 20 万人以上の研修員を受け入れ、途上国の国づくりを進めてきた。研修員受け入れ事業での JICE（財 日本国際協力センター）の役割を学ぶ。
第9回	在日外国人支援事業の概要（JICE）	JICE 事業としての在日外国人支援事業について理解する
第10回	JICA と自治体の連携事業 I（兵庫県）	JICA 兵庫は自治体との連携事業にも重点を置き、事業展開を進めている。今回は兵庫県との連携事業を事例として取り上げ、地域社会と国際協力について考える。
第11回	災害に対する JICA の取組み I	開発途上国に対する災害支援の取組みについて学ぶ
第12回	災害に対する JICA の取組み II	開発途上国に対する災害復興・復旧支援の取組みについて学ぶ
第13回	災害に対する JICA の取組み III	開発途上国に対する災害復興・復旧支援の取組みについて学ぶ
第14回	災害に対する JICA の取組み IV	東日本大震災における JICA の取組みについて理解する
第15回	新しい JICA の事業と方向性	講座を締めくくるにあたり、これまでの講義内容を振り返り、各人が国際協力への理解と参加について考える。

### 【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント